

平成19年4月19日

京情協 地域情報化委員会(19年度 第1回) 議事録

開催日時:平成19年4月19日(木) 17:00~18:45

開催場所:京都コンピュータ学院駅前校 新館 4階

参加者:古川、和田、直江、馬場、小林、福本、桧山、中川、桂田

配布資料:地域情報化委員会(第1回)議題(添付資料含む)、平成16年度収支報告(他団体)議事

1. 19年度事業計画の確認

1)京都府中小企業技術センター、(財)京都産業21との連携について

- ・前期は試作会議など積極的に関わっていたが、今期は各企業での個別対応となった。委員会としては動向に着目し必要であれば広報を行う事とする。

2)官(行政、行政関連団体)との連携について

- ・4つの部会活動に代表者を出席させ概要を議事録にて広報する。代表者については出席可能な方が前提のため、場合により交代を検討。近日中に中川が確認する。

3)大学との連携について

- ・今期、地域情報化委員会として新たに取り組む計画。議事2にて詳細を検討した。

4)他府県の情報産業団体との連携について

- ・動向に着目し必要であれば広報を行う。和田氏、小林氏からも何かあれば報告をあげて頂く事とする。

5)20年賀詞交換の新春セミナーについて

- ・夏頃に検討する。

2. 今期テーマ「リクルート活動に関する大学との連携」における活動案の検討

1)大学コンソーシアム京都訪問の報告(中川)

- ・桧山氏、中川が訪問し、複数大学の学生を対象としたセミナーへの協力体制や京情協としてインターンシップに登録可能かどうかを確認した。
- ・セミナーについては、コンソーシアムとしては特別な事は出来ないとの事であったが、内容により受託・共催などの協力は可能との事であった。
- ・インターンシップについては、団体での登録は難しいとの事であった。またIT企業を希望する学生数は非常に少なく20名程度との事であった。
- ・訪問の結論としては、何か主催する際に、コンソーシアムに会場提供や大学への周知を相談するといった利用の形になるのではないかとと思われる。

2)同志社大学での講座(P科目、PBL)受け持ちについての検討(小林氏の提案)

- ・IT業界のネガティブなイメージを払拭するための長期的な啓蒙活動の一環として実施するかどうかを検討したが、結論に至らず、次回に持ち越す事とする。
- ・実施の場合、時期は2008年後期。対象は知識工学科の3回生(20~30名程)。

3)その他活動の取り組みについて

- ・具体案としては上記2)の講座のみのため、他の取り組みを次回検討する。

3. その他

1) 助成金の活用について

- ・小林氏より他団体の「平成 16 年収支状況」の報告を受けた。他団体のように助成金や補助金をもっと活用し PR 活動を行ってはどうかとの提案があった。
- ・次回までに雇用能力開発機構を馬場氏、中川が訪問し、どういった活動に助成金が適用されるかを確認する。

2) 委員会の年間日程

- ・中川より年間日程を後日メールする。

4. 次回検討・報告事項

- 1) 同志社大学での講座を実施するかどうかの結論を出す
- 2) 雇用能力開発機構訪問の報告
- 3) 上記 1) 以外のリクルート活動案を検討

以上